

第122号 平成31年 3月15日 発行

- 岩国医療福祉機器展セミナー報告
- 看護部フォローアップ研修 修了式
- 院内サークル活動報告
- 安全Topics

IWAKUNI
MEDICAL
CENTER

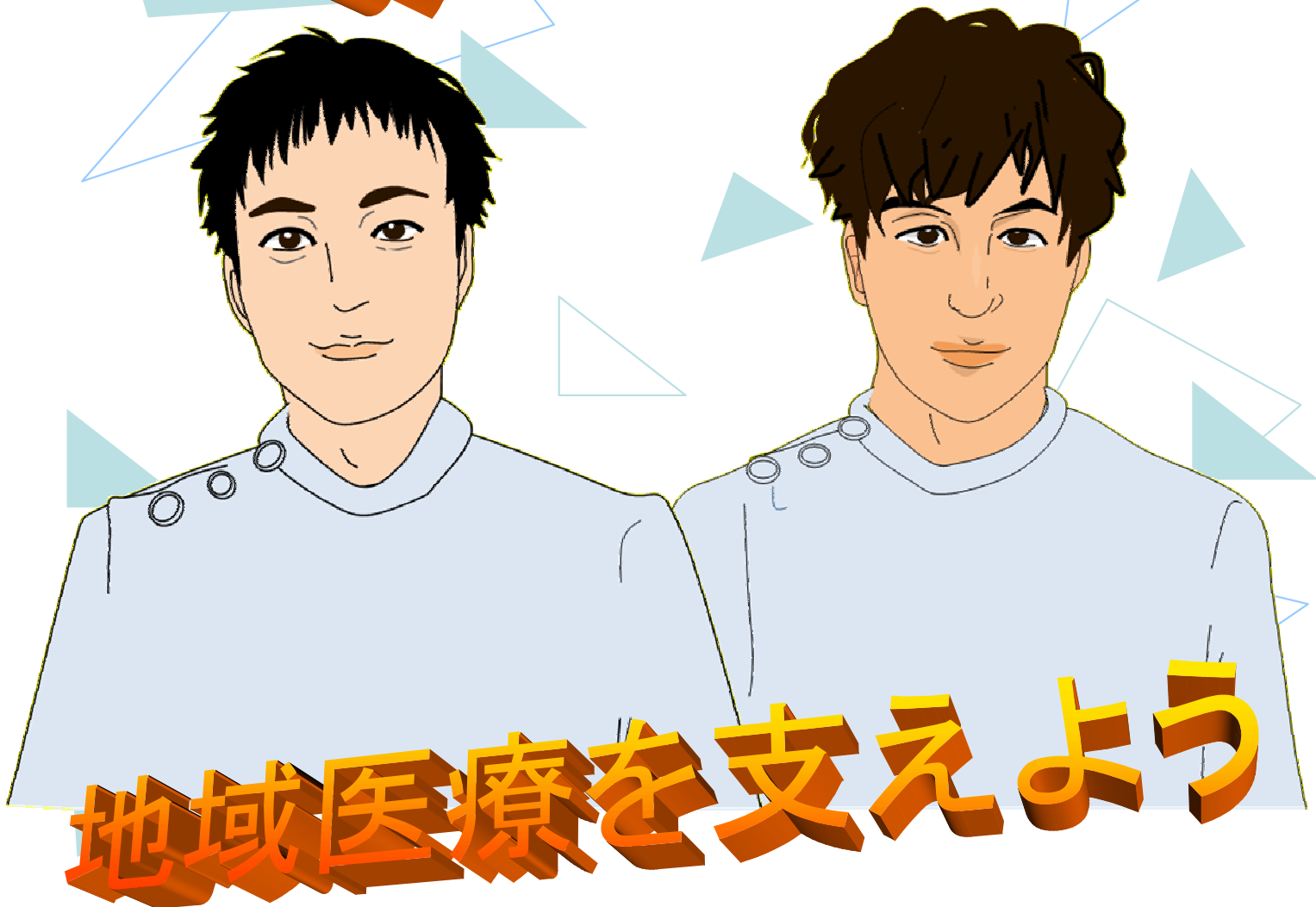
地域医療支援病院

岩国市医療センター
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>

病院目標

みんなの力で



地域医療を支えよう

岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-1 2

☎ (0827) 21-3211 (代表)

E-mail : info@iwakuni-med.jp

2019

岩国医療福祉機器展

3月2日(土) 10:00~15:00 開催

今回、3月2日に開催された2019岩国医療福祉機器展の中で、「介護スキルアップセミナー」を担当させて頂く機会を得ました。当初の予定では20名の定員と伺っていましたが、当日には80名程度の参加者が集まり、地域住民の方や医療・福祉関係者の方の関心度の高さを感じました。座学だけではなく、少しの時間でしたが実技を交えた話ができ、実技に対する質問もいくつか聞かれ、大変有意義な時間となりました。

2025年に向け、国としては地域での医療の完結を推進しており、その中でも在宅医療の強化を掲げています。在宅医療に関わる方々との連携は増々重要となります。当院でも患者安全啓発小部会が発足し、様々な形で岩国市民への啓発活動を行なっています。

病院目標である「みんなの力で地域医療を支えよう」を実践できる様、今後も地域医療の中核を担う当院の理学療法士として、微力ながら地域医療に貢献できる様努力していきたいと思えます。

理学療法士主任 崎本 充



介護スキルアップセミナー

岩国市医療センター医師会病院の
『理学療法士』から学ぶ介護技術



○「自分の腰は自分で守る！ 移乗・オムツ交換」

理学療法士：石村 将人

○「意外に困る？ 転倒した後の起こし方と転ばない靴選び」

理学療法士：崎本 充

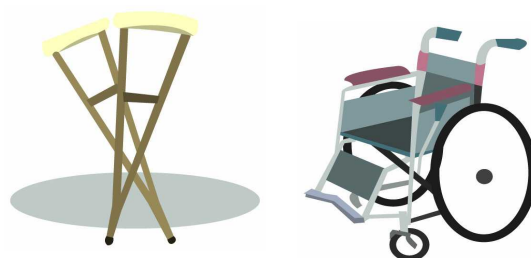
今回、福祉機器展示会の新しい取り組みとして介護スキルアップセミナーが開かれる事が決まり、腰痛予防という観点から移乗・おむつ交換について話をさせて頂きました。

当初東館2F展示室で行う予定でしたが会場を会議室・研修室に移し、当日60席用意した会場の席が埋まり立見の方もいたと聞きました。たくさんの方にセミナーに来て頂いた嬉しさや変な緊張感とともに、日々腰痛を抱え困っている方、予防に苦労されている方が多い現状を再認識しました。普段前に立つことに慣れていないため拙い講演ではありましたが、席を立つことはなく真剣に聞いて頂きました。

腰痛は医療・福祉領域に働くスタッフにとって付き物であり、その6割が今も腰痛に苦しみ一度治っても再発しやすい厄介なものです。身近な症状の一つではありますが、その予防は個人のみでなく家庭や職場全体で取り組んでいく必要があります。

今回のセミナーがその助けとなれば幸いです。

理学療法士 石村 将人



平成30年度 看護部フォローアップ研修

医師会病院へ入職した新人看護師さんの登竜門(笑)

看護部教育委員会プレゼンツ☆フォローアップ研修のもようを、**新人さんの生感想**をセットしてご報告します！

4月

- ・ 電子カルテ講習会 自己紹介合戦
- ・ 患者確認方法について
- ・ 簡易血糖測定法
- ・ 酸素・吸入療法について



頑張ります！

5月

- ・ 感染対策・標準予防策について
- ・ 皮下・皮内・筋肉・静脈注射について
- ・ 点滴静脈注射について



予想以上に痛かったです…。
ホントに痛かったです…。

6月

- ・ 静脈血採血と検体の取り扱いについて (By. 臨床検査技師さん)
- ・ 輸液・シリンジ・PCAなど 各種ポンプについて (By. 臨床工学技士さん)
- ・ 持続皮下注射について

(ポンプの)実物を見て
良かったです



7月

- ・ 口腔ケアについて (By. 歯科衛生士さん)
- ・ 動脈血採血の留意点と血液ガス測定器の使用方法について
- ・ 輸血療法について

(血ガス)急変時の予行演習
になりました。

8月

- ・ 「薬剤」に関する注意事項 (By. 薬剤師さん)
- ・ 浣腸・摘便について
- ・ 導尿・膀胱留置カテーテルについて
- ・ アナムネ聴取の留意点



薬剤クイズがおもしろかったです。
楽しく勉強できました。

9月

- NSTについて (By. 管理栄養士さん)
- 褥瘡予防・安楽な体位について
- SBARを用いた報告方法
- 経鼻経管栄養法について
- 看護必要度について

(必要度)難しいけど、毎日測る必要性がわかりました。



10月

- 12誘導心電図・モニタリングについて
- 心電図の正常・異常



11月

- CPRの流れ・気管内挿管介助
- 呼吸のフィジカルアセスメント
- 喀痰吸引

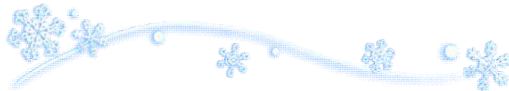
いざという時に動けるように勉強していきます。



12月

- エンゼルケアについて
- 看護倫理について
- PNSコミュニケーション研修
- 2月・3月の研修オリエンテーション

看護場面で倫理的ジレンマを感じることが増えてきました



2月

- 「私の看護観」について 発表
- 基礎看護技術チェックリスト 進捗状況
- フォローアップ研修を振り返っての感想



3月

- 新人 技術プレゼンテーション
 - 2階: 直達牽引と介達牽引
 - 3階: 腹膜透析 ~シャワー浴について~
 - 4階: 短期的バスキュラーアクセスについて
 - リハビリ: リハビリ病棟で行っているADL介助レベルの統一方法
- フォローアップ研修 修了式



これからもみんなと頑張ります!



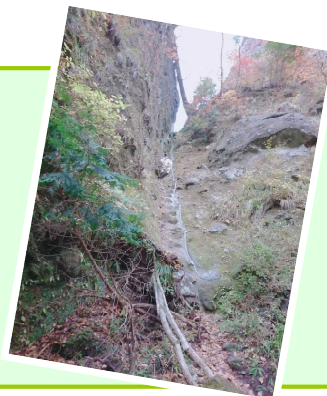
新人さんがみんな元気に働く事ができたのは、当研修にご協力いただいたたくさんの職員の皆さんのおかげです！ありがとうございました！

あるき隊活動報告（英彦山 望雲台編）

昨年11月3日からの連休を利用して英彦山(福岡/大分県境)に登って来ました。

英彦山中岳(1188m)に登った後はもと来た道を奉幣殿に戻るルートもありますが、私達は左回りで北岳(1192m)を経由して高住神社に至るコースを選択しました。

尾根伝いに歩き始めると20分ほどで北岳に着きます。ここで記念撮影しましたが尾根の平坦部分で山頂という感じはありませんでした。その後はロープ場や鎖場を経て順調に山道を下りました。分岐点で休憩しているとカップルの登山者に「望雲台に登ってきた、ちょっと怖いけどとても見晴らしはいい、10分程で行けるので絶対に行ったほうがいい。」と勧められました。今の時刻を考えれば下りを急ぐべきだと感じていましたが、わずかな時間だし二度と来ることないだろうと考え、望雲台に立ち寄ることにしました。望雲台の下まではすぐに到着しましたがそこからは10m以上ある崖を登る鎖場、その後は崖を横方向に鎖をもって移動する平場、最後にもう一度10m以上の切り立った壁を登る鎖場となっていました。最後の鎖場は1人が頂上上がりきるまで下で残りの人は見上げて待つことになります。最初に登った隊員は登りきっても鎖を持ったままで動こうとしません。「横に移動して。次が登れない。」と声を掛けましたが「無理!」との返事でした。その後やっと横にずれてくれて、次の隊員が登りましたが頂上で悲鳴を上げていました。続いて茶川会長、最後に隊長の私が登りました。



上に登ってみると確かに立ち上がれないことがわかりました（立てる人もいるのですが少なくとも私達はできませんでした）。私自身は高所恐怖症ではありませんが確かに怖いと思いました。目の前は吸い込まれそうになる150mの垂直の崖、後方の登ってきたところも崖。望雲台は幅1mもないナイフエッジでした。このエッジの尾根伝いに転落防止用の金属の支柱とチェーンがとりつけられていましたが隙間も広く頼りないものでした。隊員の1人が「手を離せないで誰かこの景色を写真に撮って。」と叫びましたが誰も支柱や鎖から手を離すことはできませんでした。個人的にはポケットからカメラ（スマホ）を取り出せるとは思いましたが片手だけで扱うと崖下に落ちてしまいそうでした。最後まで誰も自分が撮るとは言い出しませんでした。結局、「この景色を目に焼き付けて帰ろう。」ということになりました（下山後にネットで検索すると望雲台は時々転落での死亡者が出る場所でした）。景色を目に焼き付けた後は登った逆の順番で降りることになります。登る時は視認できていた足場も降りる際は全く見えません。足をかける場所を探りながら降りるのは意外と怖いものでした。二人の隊員は足をかける場所がわからないため怖がってなかなか降りられません。そんな時、先に降りた茶川会長があとから降りる隊員に足をかける位置を（もう少し右とかあと20cm下とか）的確に指示を出したため、その後は2人とも恐怖心が薄らぎ無事に降りることができました。

望雲台に登る際には誰もいませんでしたが、もたもたしている間に6人グループが上の鎖場の下で待っていました。また、下の鎖場を降りる際にも、その下に白装束を着た15人程度の修験者のグループが待っていました。修験者の一人は鎖場を恐る恐る降りる女性隊員のためにホウ貝を吹き続け鼓舞してくれていました（もしかしたらいつまで待たせるんだ、早く降りろとホウ貝を吹いていたのかもしれませんが）。結局、元の山道まで戻るのに10分ではなく30分以上を要してしまいました。予定よりかなり遅くなり日も暮れてきたので帰路を急ぎました。そのため20分ほどで麓にある高住神社に着くことができました。

（次回は 英彦山 下山編です）

（文責 貴船雅夫）

あるき隊は、隊員募集中です。入会無料、おためしもOKです。興味のある方は総務課にご連絡ください。

歯周病は感染症

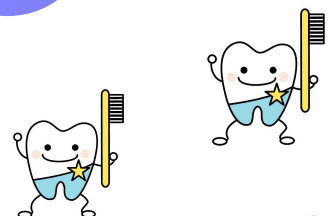
◎ 歯周炎発症

歯周病菌は唾液を介して感染します。感染するのは歯蝕菌よりずっと遅く18歳以降です。歯周病菌がいる人の唾液が口の中に入ることにより感染します。口の歯肉を覆う上皮細胞は、歯肉を感染から守る最前線の障壁（バリア）です。この上皮バリアが破壊されない限り歯肉の健康は保たれます。磨き残されたプラークがあると中の細菌が歯肉に炎症を起こします。すると歯と歯肉の接着が剥がれて間に隙間ができます。（これを歯周ポケットと呼びます）そして歯周ポケットの中の歯肉の上皮バリアが破壊され、潰瘍と呼ばれる傷ができます。「歯を磨くと血が出る」のは歯ブラシの刺激で歯周ポケットの潰瘍から出血するからです。いったん潰瘍ができると歯磨きをしても出血は止まりません。歯科医院に行って、歯周ポケットの中を綺麗に清掃してもらわない限り潰瘍は治りません。歯肉ポケットの出血には大きな意味があります。赤血球のヘモグロビンはたっぷりと鉄分を含んでいます。歯周病菌にとって鉄分は必須栄養素であり鉄分がないとあまり増殖できません。歯周ポケット内に潰瘍が形成されたとき、血液中の鉄分と蛋白質を摂取して一気に増殖します。この結果、歯垢の病原性は一気に高まり歯周炎は進行します。



◎ 出血と歯周病関連全身疾患の関係

細菌（特に歯周病菌）は潰瘍の毛細血管に入り込み血流に乗って全身に運ばれていきます。（菌血症と呼びます）全身に運ばれた歯周病菌はいろいろな全身疾患を増長させます。歯周病菌による菌血症を閉ざせば、全身疾患も軽減される可能性があります。歯周病治療を受けて歯周ポケットが清掃されると歯周病菌の量が減ります。プラークの病原性は低下し、歯周ポケットの潰瘍は治っていきます。潰瘍が治れば歯周病菌は食料である血液を失いプラークの病原性はますます低下し、歯肉は健康に戻ってきます。歯肉から血の出る人は直ぐにでも歯科医院に行って歯肉からの出血についてご相談下さい。





岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

平成31年3月1日現在

	月	火	水	木	金	土	
総合診療科	木村 一紀 (午前)						*毎週月曜日(9時~12時半)は 木村 一紀が診療を行っています
消化器内科 (肝臓)			川口 憲二	川口 憲二			*救急と予約診療以外は 午前中 お願いします
糖尿病内科 血液内科				佐々木 輝昌			*毎週木曜日(9時~16時半)は 佐々木 輝昌が外来診療を行っています *糖尿病教室は、毎週月・木曜日、第2・4金曜日の15時から行っています
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*血管造影は、金曜日の午後に行っています
泌尿器科			田原 正則 (午後)				*毎週水曜日(13時半~16時半)は 田原正則が診療を行っています
小児科	福田 雅通	古賀 まゆみ	休 診	福田 雅通	古賀 まゆみ	福田 雅通	
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約が必要です
ペインクリニック内科 麻酔科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜	*毎週 火曜日・金曜日(9時~12時半)は、ペインクリニック(痛みの外来)を行っています 毎週 火曜日・金曜日は、予約も可能です 急患や火・金曜以外の診療については、医療連携室(21-3225)又は直接 熊野健一へお問い合わせください *毎月 第1・第3土曜日(9時~12時半)は、原田 英宜によるペインクリニックを行っています 毎月 第1・第3土曜日は完全予約制ですので 医療連携室(21-3225)へ詳細はお問い合わせ下さい
脳神経内科			金谷 雄平 (午前)				*毎週水曜日(9時~12時半)は 金谷 雄平が診療を行っています (対象年齢:16歳以上) *完全予約制ですので医療連携室(21-3225)へ詳細はお問い合わせ下さい
整形外科	貴船 雅夫	貴船 雅夫	土田 聖司	土田 聖司	清水 元晴		*救急と予約診療以外は 午前中 お願いします
脳神経外科						(第1・第3) 末廣 栄一 (第2) 井本 浩哉	*毎月第1・3土曜日(10時~12時半)は 末廣 栄一が外来診療のみ 行っています *毎月第2土曜日(9時半~12時)は 井本 浩哉が診療(機能的脳外科)を行っています(要予約) *変更になることがありますので、事前にご確認ください
放射線診断科	交替	田辺 昌寛	横田 佐和	交替(午前) 岡田 宗正 (午後)	交替		*完全予約制ですので、放射線科受付(21-3224)へ詳細はお問い合わせ下さい *火曜日・水曜日は、診療対応(10時~16時)で行っています *血管造影は、木曜日の午後に行っています
リハビリ科 (午前中のみ)	茶川 治樹	松本 彰紘	茶川 治樹	森脇 宣允	柳居 理絵子	森脇 宣允 木村 浩彰	*初診の場合は、必ず 予約が必要です
療育 (午前中のみ)	古賀 まゆみ	茶川 治樹	古賀 まゆみ	古賀 まゆみ	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制ですので療育センター(24-0168)へ詳細はお問い合わせ下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています

★ 救急は、この限りではありません

★ 紹介状は必ずお持ち下さい



※ 市外局番 ☎ (0827)

編集・作成：岩国市医療センター医師会病院 院内広報委員会